

令和4年度の主な取組

「感染症対策の更なる強化」を最優先に取り組み、あわせて、「誰もが自分らしさを発揮し、いきいきと安心して暮らすことができる街」の実現に向け、特に子育て支援、教育の充実、DXの推進、脱炭素化に重点を置いた予算としました。「暮らしやすく、誰もがWELL-BEINGを実現できるまち」「人や企業が集い、つながり、新しい価値を生み出し続けるまち」「市民生活や都市を支える基盤づくり」の3つの柱ごとに取り組みます。

暮らしやすく、誰もがWELL-BEINGを実現できるまち

〈すべての子どもたちの未来を創るまちづくり〉

- **次の横浜を創る政策プロジェクト** *＜力強い経済成長の実現と賑わいがあふれるまちづくり〉にも関連 **5,000万円**
本格的な人口減少社会を迎える中で、持続可能な市政運営を実現するために、子育て世帯に優しい施策や新たな経済振興策の検討など、今後のまちづくりとも連携しながら幅広く検討します。
- **保育・幼児教育の充実** **1,741億4,200万円**
待機児童の解消に向け、保育所等の1、2歳児や私立幼稚園での2歳児受入れの拡大など既存施設の活用、受入枠が足りないエリアでの保育所の新規整備などで、市全体で1,290人分の受入枠を確保します。また、医療的ケア児の受入れに必要な体制をとるための支援を行います。
- **児童虐待対策の充実** **113億5,400万円**
各区こども家庭支援課に「こども家庭総合支援拠点」の機能を整備し、子どもとその家庭への相談支援機能の更なる強化・充実に取り組みます。また、鶴見区での新たな児童相談所設置に向けた基本設計を実施します。
- **多様な教育的ニーズに対応した教育の推進** **42億7,900万円**
いじめ防止や早期解決に向け、学校へスクールソーシャルワーカーやカウンセラーを配置します。また、たんの吸引など医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する小中学校等への看護師派遣などの支援を行います。

〈誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり〉

- **高齢者福祉の充実** **221億3,700万円**
要介護3以上の方が概ね10か月以内に入所できるよう、特別養護老人ホームの整備に助成します。また、業務効率化や職員負担の軽減のため、介護施設等の大規模修繕にあわせた介護ロボット・ICTの導入支援を行います。さらに、認知症の理解促進などに向けた取組のほか、若年性認知症支援コーディネーターの配置を4か所に拡充します。

〈Zero Carbon Yokohamaの実現〉

- **Zero Carbon Yokohamaの実現・SDGs未来都市・横浜の実現** **43億100万円**
「地球温暖化対策実行計画」の改定や、脱炭素を新たな成長戦略に位置付けて、国・産業界と連携し、カーボンニュートラルポート形成や水素サプライチェーン構築などを推進します。また、市内中小企業へのグリーンリカバリ設備投資助成、サーキュラーエコノミー構築検討、公共施設のLED化などに取り組みます。さらに、ヨコハマSDGsデザインセンターを活用し、相談対応やSDGsに積極的に取り組む企業等の認証などの支援を行います。

令和4年度の主な取組

人や企業が集い、つながり、新しい価値を生み出し続けるまち

〈力強い経済成長の実現と賑わいがあふれるまちづくり〉

- **中小企業・小規模事業者への基礎的支援と脱炭素化・デジタル化の推進** **1,482億4,200万円**
中小企業等へのきめ細かな経営相談のほか、経営の安定化や新たなチャレンジを支援する「新型コロナウイルス特別資金」などにより資金繰りを支援します。また、デジタル化を後押しするための経費助成を行います。
- **観光・MICEの推進** **44億1,700万円**
本市が目指す観光・MICEの姿や方向性を示す「横浜市観光MICE戦略」の策定や、観光キャンペーンによる観光産業の復興、安全・安心なMICE開催のための主催者支援を進めます。

〈住まいと地域を大切にす持続可能な郊外部のまちづくり〉

- **地域交通の維持・充実** **1億2,800万円**
地域内の移動手段について、モデル地区での実証実験や効果検証に取り組み、様々な移動サービスのあり方を検討します。また郊外部での連節バスの導入などによりバスネットワークの維持に取り組みます。
- **通学路の安全確保、踏切安全対策の推進** **42億4,700万円**
通学路における歩道設置やあんしんカラーベルト整備、交通安全施設の整備・補修などを推進します。また、踏切拡幅などの安全対策を進めます。
- **旧上瀬谷通信施設地区の土地利用の推進** **58億6,000万円**
土地区画整理事業の実施に向けた手続きや工事の着手、周辺道路整備、新たな交通の検討調査や、防災機能の検討などを行います。あわせて、農業振興の取組や公園整備に向けた手続きや設計等を進めます。

〈成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり〉

- **山下ふ頭用地の造成等** **23億9,000万円**
民間開発可能な環境を整えるとともに、市民等からの意見募集・民間事業者からの事業提案募集等を進め、意見や提案の取りまとめや公表、検討委員会の設置・開催など、事業計画策定に向けた検討を行います。

市民生活や都市を支える基盤づくり

〈花・緑・農・水の豊かな魅力あふれる都市づくり〉

- **国際園芸博覧会の推進** **3億5,800万円**
2027年の開催に向けて、国や2027年国際園芸博覧会協会等と連携して、園芸博の認知度向上、機運醸成を図るため、広報PRを推進します。また、出展・輸送アクセスの検討や会場建設費の補助を行います。

令和4年度の主な取組

〈災害に強い安全・安心な都市づくり〉

●自助・共助の推進による地域防災力の強化 5億6,500万円

高潮・洪水・内水の3つのハザードマップを「浸水ハザードマップ」として1冊にまとめ、「マイ・タイムライン」とあわせて、15区(令和3年度に配布した神奈川区、金沢区、栄区を除く)の全世帯・全事業所に配布します。また、ハードソフトのそれぞれの面で防災対策を実施しているマンションを認定し、地域防災力の向上を推進します。

●地震・地震火災に強い都市づくりの推進 66億2,700万円

木造住宅・マンション、特定建築物(多数の方が利用する建物等)の耐震診断・改修、ブロック塀などの改善事業を行います。また、木造密集市街地での地震火災対策を進めるための都市計画道路の整備や建物の不燃化促進、感震ブレーカーの普及啓発に取り組みます。

〈市民生活と経済活動を支える都市づくり〉

●高速鉄道3号線延伸事業の推進等・グリーンラインの6両化 27億7,400万円

高速鉄道3号線延伸(あざみ野～新百合ヶ丘間)について、関係機関との協議・調整、行政手続きを進め、これに必要な調査・設計の深度化を図ります。グリーンラインでは9月下旬から6両化した車両を段階的に導入します。

【最優先の取組】感染症対策の更なる強化 2,041億円

*前の3つの柱掲載の取組も含まれています

●感染拡大防止と医療提供体制確保 427億円

(主な取組) ●新型コロナウイルスワクチン接種(3回目追加接種、5～11歳小児接種など) ●24時間対応のコールセンターの運営 ●検査体制の確保 ●自宅療養者への支援 ●救急活動における感染防止対策

●横浜経済の活性化と市民生活の安全・安心 1,561億円

(主な取組) ●中小企業等への支援(グリーンリカバリー設備投資助成、商店街が行うプレミアム付商品券事業への助成など) ●雇用機会の創出・就職支援 ●観光・MICE支援 ●子育て・福祉施設等のサービス提供体制確保(施設内の感染症対策や陽性者発生時の対応にかかる経費助成など)

●Withコロナ/Afterコロナ 52億円

(主な取組) ●GIGAスクール構想の推進 ●学校における感染対策(感染症対策等の業務をサポートするためのスタッフ配置や感染防止資器材の購入支援など) ●行政のデジタル化(行政サービスのオンライン化、全区庁舎のICT環境の強化など)

DXの推進 119億円

*前の3つの柱掲載の取組も含まれています

●行政サービスのデジタル化 101億円

(主な取組) ●行政サービスのオンライン化 ●住民記録・税務等のシステム構築 ●マイナンバーカード交付拠点の増設

●防災・子育て等重点分野におけるDXの推進 3億円

(主な取組) ●産前産後のオンライン母子保健相談 ●消防活動 LIVE 映像通信システムの導入

●創発・共創によるDXの推進 0.4億円

(主な取組) ●デジタル・ガバメント実証事業(行政課題の解決に向けた民間からのデジタル技術提案をマッチング)

●デジタル化時代に合わせた働き方改革 14億円

(主な取組) ●AI・RPA等の活用推進 ●インターネットを利用した行政サービス提供のための環境整備